

〔平成20年度 伊勢市下水道事業会計決算の概要〕

本年度の下水道事業は、汚水処理事業として平成17年度より着手した流域関連公共下水道事業の第2期事業において、汚水幹線築造及び管渠の面整備を進めるとともに、マンホールポンプの電気・機械設備工事等を行いました。小俣公共下水道事業においては汚水管渠関連舗装工事を、宇治・中村特定環境保全公共下水道事業では公共汚水ますの設置工事等を、また、二見特定環境保全公共下水道事業ではマンホールポンプの設備設置工事等を行いました。

雨水対策事業としては、雨水排水路を築造し雨水管路の整備・拡充を図るとともに、ポンプ場の場内整備や流入渠築造工事を行いました。

また、なお一層の市民サービスの向上や業務の合理化、効率化を目的とし、下水道使用料の窓口・徴収等業務の民間委託を開始しました。

1. 経営成績 (単位：千円)

区 分	金 額
収益的収入	1,962,972
収益的支出	2,002,230
当年度純損失()	39,258
前年度繰越利益剰余金	4,597
当年度未処理欠損金()	34,661

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	58,181,409	負 債	1,099,462
固定資産	54,606,760	固定負債	18,766
流動資産	3,574,649	流動負債	1,080,696
		資 本 金	34,382,332
		自己資本金	5,566,386
		借入資本金	28,815,946
		剰 余 金	22,699,615
		資本剰余金	22,734,276
		欠損金()	34,661
合 計	58,181,409	合 計	58,181,409

3. 業務量の概要

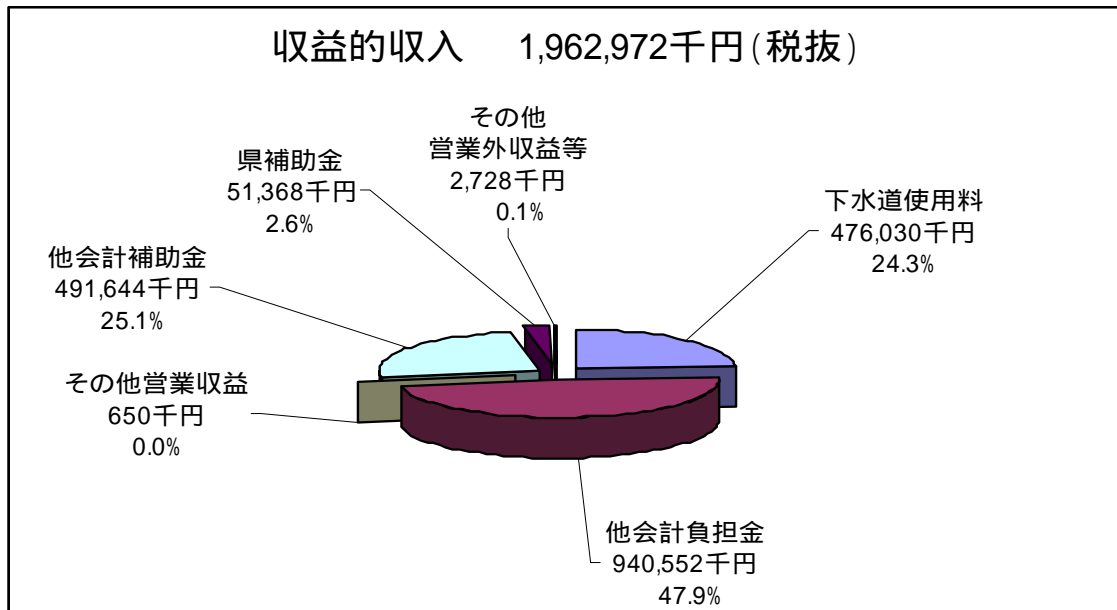
項 目	平成 20 年度	平成 19 年度	比 較	
			増・()減	比 率
行政区域内人口 A 人	134,870	135,507	637	99.5%
処理区域面積 ha	1,028.3	956.8	71.5	107.5%
污水管渠布設延長 m	279,724	246,787	32,937	113.3%
処理区域内戸数 戸	15,538	14,219	1,319	109.3%
処理区域内人口 B 人	40,087	37,115	2,972	108.0%
水洗化戸数 戸	11,137	9,381	1,756	118.7%
水洗化人口 C 人	28,500	24,311	4,189	117.2%
普及率 B / A %	29.7	27.4	2.3	-
水洗化率 C / B %	71.1	65.5	5.6	-
処理水量 D m ³ /年	3,495,388	2,967,393	527,995	117.8%
有収水量 E m ³ /年	3,390,595	2,905,534	485,061	116.7%
有収率 E / D %	97.0	97.9	0.9	-
雨水管渠布設延長 m	8,323	7,581	742	109.8%
ポンプ場稼動時間 H/年	245.6	82.7	162.9	297.0%

[下水道事業の収支]

1. 収益的収支

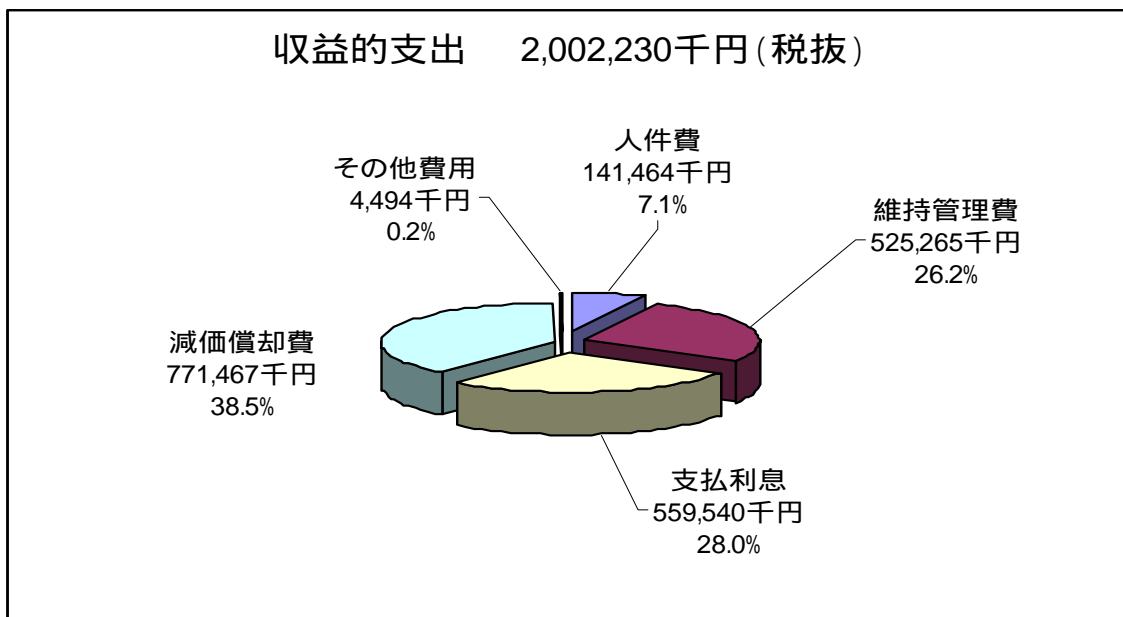
収益的収入

施設の維持管理費等下水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく下水道使用料や一般会計繰入金（他会計負担金、他会計補助金）県補助金等で構成しています。



収益的支出

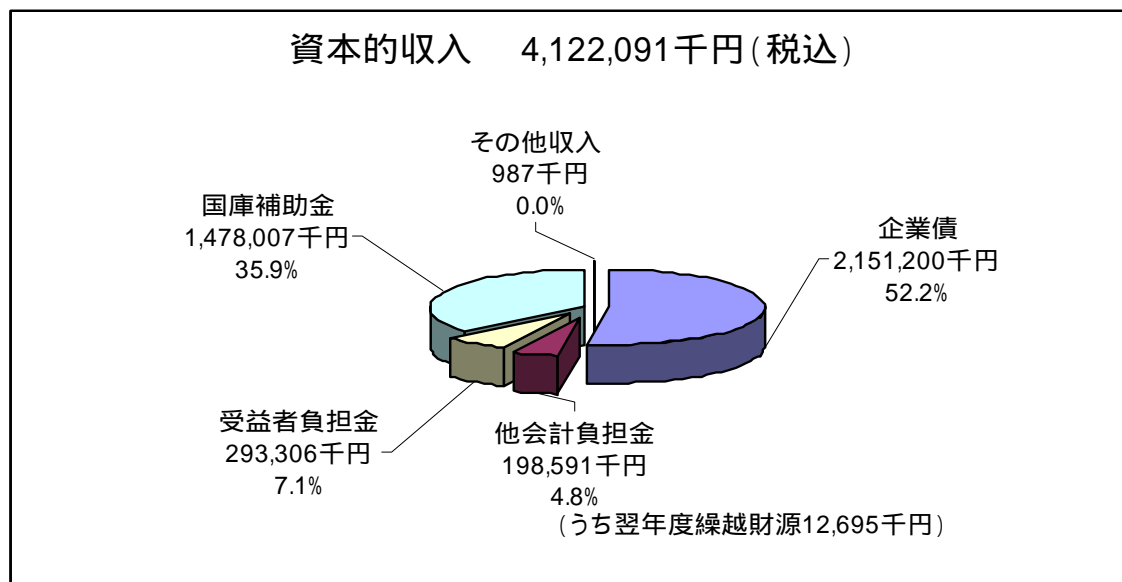
下水道使用料、一般会計繰入金等（収益的収入）を財源として、下水道事業を運営していくために必要な経費。施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

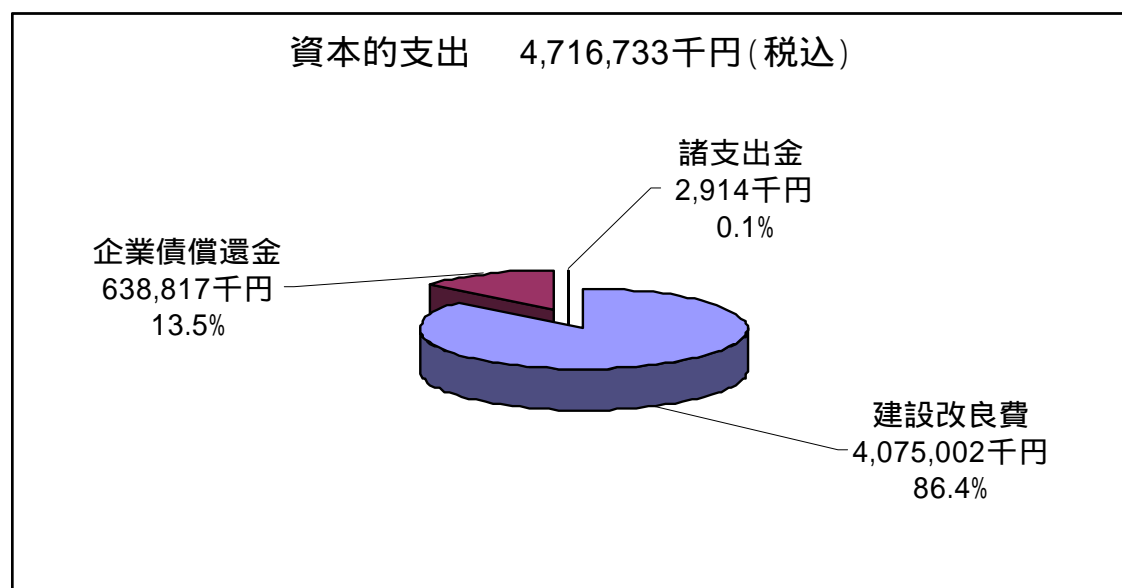
資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金(資本的支出)の財源。企業債、一般会計繰入金(他会計負担金)、受益者負担金、国庫補助金で構成しています。



資本的支出

企業債や国庫補助金、受益者負担金等(資本的収入)を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金等で構成しています。



資本的収入額(翌年度繰越財源 12,695 千円を除く。)が資本的支出額に不足する額 607,337 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 91,540 千円、繰越工事資金 51,203 千円、減債積立金 300 千円、過年度分資本的収支超過額 464,294 千円で補てんしました。